

umask

ファイルやディレクトリの新規作成時のパーミッションを決定するマスク値の表示と設定するコマンド。

書式

umask [オプション] [マスク値]

コマンド名のみで実行すると現在の umask 値が表示される。

オプション	意味
-P	<u>コマンド形式</u> で表示
-S	現在の <u>umask</u> 値を <u>パーミッション</u> で表示

システムでの umask 値の設定は Linux では /etc/profile および /etc/bashrc に記されており、ログイン時に設定される。CentOS 5.9 ではユーザ名とグループが一致している場合には 0002 が一致しない場合には 0022 が設定されるようになっている。

ファイルやディレクトリ作成時のパーミッションの値はファイル作成時には 666 と、ディレクトリ作成時には 777 と umask 値のビット単位の否定の論理積によって得られる値がそれぞれのパーミッションになる。

例えば umask 値が 022 の場合、ファイルおよびディレクトリのパーミッションは 644(rw-r--r--) と 755(rwxr-xr-x) になる。

8進数	2進数		8進数	2進数
666	110 110 110	-	777	111 111 111
022	111 101 101	-	022	111 101 101

644	110 100 100		755	111 101 101

また、umask 値が 002 の場合はそれぞれ 664(rw-rw-r--)、775(rwxrwxr-x) となる。

8進数	2進数		8進数	2進数
666	110 110 110	-	777	111 111 111
002	111 111 101	-	022	111 111 101

664	110 110 100		775	111 111 101